

ほたる

平成 21 年 10 月 1 日発行
中ノ郷ふるさとづくり協議会
事務局：鳥取市覚寺 118
中ノ郷地区公民館内
Tel:0857-21-5393

中ノ郷連2009



中ノ郷連、鳥取しゃんしゃん祭りに参加

夏を華麗に彩る鳥取しゃんしゃん祭りが、八月八日(土)に開催され、小学校五、六年生を中心とした中ノ郷連が参加しました。現地サポーターを加えると二百人の大所帯でした。自発的に踊り手を希望した子ども達は、七月初めから夜遅くまで練習を重ね、この日を楽しみに参加しました。スタート位置の若桜街道の祭礼本部前に着くと、はやる気持ちを落ち着かせる様子が見られました。六時半に音楽が始まると、踊り手らは鈴の

音を響かせて、あでやかな傘の花を咲かせ、二時間半踊り続けました。

最後まで誰一人欠けることなく踊りきったことは、今後の活動に大きな自信となるでしょう。多くの人々の支えがあつて、今年も、しゃんしゃん祭りに参加できました。祭りを通じて地域の人々の交流の輪が広がり、繋がっていくことを期待しています。

中ノ郷地区納涼まつりが盛大に開催される

八月一日(土)、第十五回中ノ郷地区納涼まつりが公民館駐車場、小学校グラウンド等を会場に開催されました。

食べ物コーナーでは、焼きそば、フランクフルト、おでん、元氣井など人気が高く、いち早く完売。涼しさを感じる夜でしたが、生ビールやかき氷も好評で、完売しました。

工夫を凝らした催事も盛大でした。特に、小中学生が企画し

たお化け屋敷入口は、順番待ちの子ども達が長蛇の列。夏の風物詩である金魚すくいやヨーヨー釣りも多くの子連れで賑わいました。

芝生が広がったグラウンドでは、チーム満点星が新しいバージョンの中ノ郷音頭を披露。体験希望者の住民や小学校校長先生、教頭先生も飛び入り参加で大きな拍手が起りました。福浜キャスター司会の〇×クイズでお祭りは最高潮。

今年初めて実施された大抽選会は、32インチ液晶テレビを当てようと皆ハラハラドキドキ。最後は、第十五回を記念して大玉花火が打ち上げられ、中ノ郷の夜空を鮮やかに染めました。

参加した千三百人の住民の交流を深め、心を癒した大成功の納涼まつりでした。



中ノ郷地区敬老会に 七十五人のご参加を 頂きました。

九月十三日(日) 中ノ郷小学校体育館で地区敬老会が開催されました。敬老該当者総数は前年比十八人増の二百四十四人(男性八十七人女性百五十七人)で、内七十五人の方が参加されました。

当日は町内会毎の記念撮影後、中ノ郷小学校校長、同中学校校長さんの祝辞、小学生からの鉢花贈呈、ふるさとくらぶの麒麟獅子舞・銭太鼓、小学校児童の作文朗読につづいて会場全員で合唱、健康体操でリラクセスして祝宴に入り、町内会のアトラクションを楽しみました。



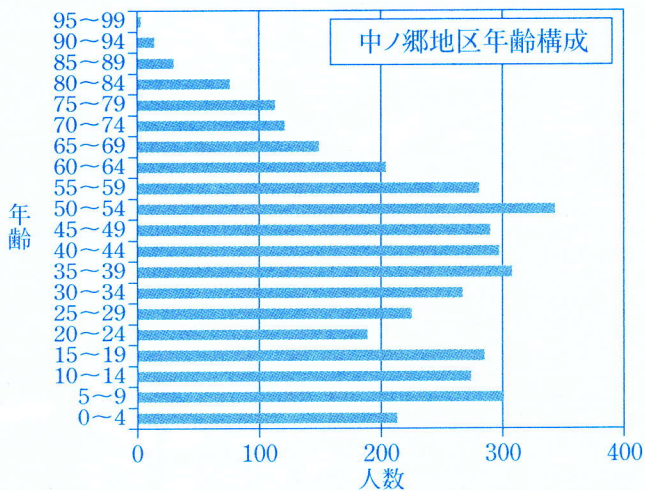
覚寺口町内会の子も達のアトラクション

私たちの中ノ郷地区を知ろう①

中ノ郷地区は覚寺、円護寺、北園1丁目、北園2丁目、山城町の5つの町名(町内会は8地区)で、1,339世帯、3,983人から成り立っています。

男女の比率は、男性48%、女性52%です。

また、年齢構成で0~14才が19.8%、15~64才が67.5%、65才以上が12.7%となっています。下記の5才刻みの年齢構成のグラフから、活気のあるまちづくりと、伝統文化の継承が期待できます。



平成21年6月30日住民登録(鳥取市データ)より

中ノ郷地区体育館の 工事が進んでいます。

中ノ郷地区体育館の建築工事が、公民館と小学校グラウンドに隣接した場所で行われています。来年早々の完成を目指しています。バスケットならば一面、バ

中ノ郷連の傘踊りで会場が沸いたところで神崎芳枝さんの音頭で万歳三唱をし、閉会となりましたが、参加いただいた皆さんには和やかで楽しい時間を過ごして頂いたのではないでしょうか。

十月一日に、中ノ郷ふるさとづくり協議会の ホームページを開設しました。

ふるさとづくり協議会のホームページを中ノ郷地区公民館のホームページの中に開設しました。次のいずれかの方法でアクセスして、ご覧ください。アクセス方法は、

トミントンなら三面とれる広さです。中ノ郷地区の活動が、広がる事が期待できます。交流の一つの拠点としましょう。



今後の行事予定

- *十月十八日(日) 中ノ郷地区 防災訓練
- *十月二十四日(土) 中ノ郷まつり
- *十一月二十五日(日) 中ノ郷まつり
- *十二月二十三日(月) 祝日 子ども御輿パレード

編集後記

中ノ郷ふるさとづくり協議会発足後、夫々の専門部会で活発な意見が交わされています。事業内容も充実して、参加者も増えました。十月には地区防災訓練や中ノ郷まつりが、十一月には子ども御輿パレードが予定されています。本格的な地区防災訓練は初めての取り組みです。ご家族おそろいでご参加下さい。本号から「私たちの中ノ郷地区を知ろう」シリーズを載せる事にしました。地域が身近なものになることを願っています。